

Re:短歌3



94組188名による返歌をテーマにした短歌集

2020年秋 #Re短歌



Re:短歌3

発行：2020.11.02

短歌：ご寄稿くださった皆さま

タイトル原案：嶋田さくらこ

企画・編集・制作：千原こはぎ

Re:短歌3

TANKA

94組188名による
返歌をテーマにした短歌集

※お一人目のアカウント順



姉妹の会話（とある日曜日編）

でかい

おやすみを言ったあとのが楽しいね ぱつりぱつりとぶるぶるるる空気

晴れた空、目にもくれずに走ろうよ 10時発には乗れますように

ガタゴトと揺れる車内で横並び宇宙経由で伝える「ねむい」

「ゆく先は調べちゃうからついて来て☆」（お姉ちゃん風が少し寒い）

はんぶんこのパスタとふたつのケーキ ねえ、そっちもひとくち頂戴

まゆちゃんが注目してた書店にてあれ？わたしのが買っちゃってるよ…

夜ごはんまで一休みしよカードでタ焼けフーリンするから

あしたから朝6時起き始まるね早く寝なくちゃ！一首めへ戻る

吹屋万由子 × 吹屋二佐子

@misako_fky

工藤吹 × 豊富瑞歩

@miohuz

まつね × 千原こはさき

泳一 × いとり

404notF0816 × 桜望子

榎本ユミ × 小俵鰐太

英田柚有子 × 穂崎円

北町南風 × RUKA

尾崎飛鳥 × 朝野陽々

えみ × 鈴木智花

まきぞの × あきやま

鈴木精良 × 若杉有紀

青木健一 × 菊池洋勝

深水遊脚 × 詩穂

有村奈都 × 青藤木葉

須磨蛍 × ぐりむ

友常甘酢 × あさ

おおはしけんじ × 野中美亨

眞鍋せいら × 音無早矢

滝藤青瀬 × 5.74ft

阿鼻地獄 × 七味

郡司和斗 × 狩峰隆希

海月莉緒 × 風沙帳

浦川ゆきこ × 櫻井朋子

ましまゆり × 小田たくみ

袴田朱夏 × 脣

鈴木智子 × 星川郁乃

春陽 × ササキシユウ

蒼音 × 青時

のつちえこ × 久藤さく

千早とわ × 星野いのり

新棚のい × 陽辻 寿

千仗千紘 × 笠原楓奏(ふーか)

中之島 潤 × 角野裕美

CHONO × Shiduka Mai

星野珠青 × 石勇齋朱吉

ともえ夕夏 × 雨虎俊寛

からすまあ × 紫の君

犬口マズル × 阿部 啓

遠野景 × 塚本凜々子

飽きるまで口に詰め込む後悔を見越していくも後悔をする

走りだすたび踏み込んでしまうからどろどろって即時な快感だ

水際の似合えば青も サーファーを数えていればヨットも含む

グラビアの表紙に思い出せそうな、あれは油絵だつただろうか

水・油・張り詰めてくる日常がどうにもならないから買った絵

ドロップスひとつぶひとつぶどこにでも行けるわたしの愛しいとかげ

デスポーツ／リストポーンって繰り返すじやあ俺も蜥蜴にならうかな

理性みたいな撫で方をしてこの部屋でもつともでかい人間だった

笑つて生きよ

また会いにくる



笑つて生きよ「タ」で呼べても笑つて生きよ「ら」年生がいる

靈長類最強女子の吉田さん世界2位の強さで泣いてる

2回目のブレーキ「ハ」の点滅で電球が切れちゃった吉田美和

美輪明宏新車のナンバープレートは41-10ヨイトマケかな

群馬とかの倉庫にワンちゃん残つてそ小林幸子の紅白の衣装

amazonさん在庫があるなら才能を14時-16時の便で。Prime会員です。

ヒーローの黙てぬ配色仮面「ライダーマン必殺技大切断

じいまでも続く数字と思ってた。大切。でも笑つて生きよ

泣いてる時でね配色仮面「ライダーマン必殺技大切断

泣いてる時でね配色仮面「ライダーマン必殺技大切断

泣いてる時でね配色仮面「ライダーマン必殺技大切断

岡本雄矢 × スズサク

@yuyaokamoto1984 @garigarginorange

粗田雪 × ゆりこ

@zarameyukitanka @bb7282e_akaneiro

鴨衣	×	高野詩	國崎半島	×	むわわび	雪野菜帆	×	みそ	
かのこ	×	水戸	一	りんご	×	万間みいや	山似田一郎	×	平出奔
杉谷麻衣	×	堂那灼風	ルオ	×	悠佳里	toron*	×	近江瞬	
一ノ瀬ケイ	×	真野陽太朗	さめない	×	田中はる	小林董子	×	宗谷燃	
榎原もか	×	諏訪灯	四辻さる	×	朝田おさる	アナコンダ	にひき	瑠璃紫	
木村槿	×	カラスノ	ケンイチ	×	野川	天野うずめ	×	岡田奈紀佐	
野添まゆ子	×	青山祐己	佐藤氷魚	×	八重森かくら。	西鎮	×	愁愁	
神戸麻衣	×	潮木黎	月隱いち	×	廣間菜用	松島ゆうり	×	樹枯井山	
紺野水辺	×	domina	ソウシ	×	吉岡繁樹	ゆきやまる	×	さたやまる	
コトバワケ	×	月岡鳥情	鶴巣	×	ひかる	優木じゅま	フ	カタクリ	
かすとり体力	×	小澤ほのか	瓦すずめ	×	かなた小秋	泉田良	×	なな	
黒兔	×	柊ひじり	田中翠香	×	知己凜	芍薬	×	犬井楓	
篠永共佳	×	南美桜	鶴巣	×	ひかる	岡本雄矢	×	スズサク	
長井めも	×	たゞ団子	海月漂	×	魚返みりん	粗田雪	×	ゆりこ	
沙羅粗伊	×	澄薰	菅沼ゼリイ	×	青村豆十郎	吹屋万由子	×	吹屋三佐子	
ま。	×	龍翔	天田銀河	×	キール	工藤吹	×	豊富瑞歩	
なるなる	×	兎陸☆(とりつくすた)							
西村曜	×	佐藤博之							
新妻ネトラ	×	ブルーエットふみ乃							
たなかのたんか	×	花曇り							
たろりすむ	×	川野愛奈							

触れた手がもう友だちに戻れずに止まつたままの回転木馬
友だちの先に見えてる逃げ水を追えず涙で若葉を洗う

画面越し若葉にそっと触れてみるもしも会えたらい何て言おうか

何事もなかつたように目の前のきみが抱えるリストの楽譜

楽譜には君の休符が残されておそらく僕はまた間違えた

息継ぎが長かつただけモチーフは装いを変えまた会いにくる

泣けてゆく背中最終楽章に長くて甘い繰り言が鳴る

鳴り響くチエロの音色ははぐらかす声に似ていた もう待てないよ

七つの「いち」と十七の動物、 八ヶ月ぶりに逢えた恋人

恋について、



入場ゲートは青空に映えチケットを入れたかばんが小さくはすむ
想像のなかよりあまい横顔にはずむ頬　どこから回ろうか

ずっと逢いたかった気持ちを安直に例えてキリンの横顔まね@
さつきから笑ってばかりベンギンは飛びたいかとかずつと議論して
きっとまた笑ってしまつまんまるに丸まるマヌルネの表情

じうぶつを見るとき君のまんまるになる目がかわいくてもうすきだ
見ためよりすこし小さい手のひらをつよく握つてもう離せない
閉園の曲　まだつながれた熱を確かめている（あとすこしだけ）

目を伏せるあなたを抱きしめられずいた空港の雨はひじく冷たい
硝子へと頭を預け待っていたよう気がする水曜の雨

セーターの毛玉が不意に気になつて龜つてしまへ　雨止まないで
お揃いのサイズのセーター着れるときだけが同性でよかつたといふ
セーターに顔うずめれば櫻かしいあなたの香りがする晩秋に

金木犀落ちたはずなのに香りしてあなたを忘れることが増えてく
ひらりひらり零れ落やへく記憶ありマフラーを巻き歩きだす朝
目を開ければ花吹雪の舞うその最中振り向かないで飛び出してゆく

COLORS



きつね × 千原ひはき

@001kittsune @kohagi_tw

404notF0816 × 桜望子

@404notF08169144 @Ma2raMen

四季を巡つて

この森に火を放とうか曼珠沙華かたちあるもの滅びるなれば

心中をしない代わりに櫻果をねぶりあいましょ代わる代わるに

（想うとは忘れないこと）つやかな双子の黄身に箸突き立てゆ

くり抜いた君の両眼にエメラルドはめて嫉妬の怪物とする
デザートを笑顔で断る友と居てマコッジブルーは遠いあこがれ

分け合えるものが欲しいと言う君へ「ボーイフレンド・デニムは嫌い」

誰と比べれば比べなければ「しあわせ」と言じ切れるかな　桔梗を手折る

空なんて見上げなくてもつながったところから立つ虹の七色

田を伏せるあなたを抱きしめられずいた空港の雨はひじく冷たい
硝子へと頭を預け待っていたよう気がする水曜の雨

芍薬 × 犬井楳
@yuritanayogini @inuinire

村田侑衣 × あさき あほる
@yuui_m03 @maho_no_sy

またね、バイオーム

秋の手紙

きっと夢「遊びに来て下さい」なんて崩れた氷河を含めば甘い

果て、である永久凍土を踏みしめて不意に故郷の友を気にする

君がいる北斗七星見つめおり駱駝任せのよく揺れる空

白みゆく北極星にライオンもゾウもわたしも朝焼けを待つ

梅おかか昆布めんたい分け合って仲良くなるね朝を結は

チョコレートスキンの子らと手を繋ぎ兩宿りする菩提樹香る

繋ぐ手の寄せ返す歛の波際に思い出が降るマソマと歩けば

あたね、つてマングローブの根を撫でたいつかわたしも母になるから

「わいさい秋みつけた」を歌うのがすき「真つ赤だな」を歌うのがすき

年齢も生まれた場所も違うのにひとしく秋に染められていく

秋のうた手帖にいつぱい持つてゐる違う紅葉の木のしただけど

オレンジの星が香ってゆっくりと海側の秋もめぐり始める

金木犀の星を散らばる公園でこんぶいとうを齧る夕暮れ

頭から靴の先まで泥だらけ秋を探した冒険の旅

じんぐりは見つかたかな、胡桃かな？ 真つ赤な秋は宝探しだ

ひもといた思い出たちが色づいて秋の手紙は歌うのがすき

優木 ぐ も フ × カタクリ
@yukigomao @XMPX7hxaxG3ivs

泉由良 × なな
@yuraco @nanoi257

19時のプラタナス

帰路

風が秋 会いたい人に会えなくてあなたもきっと退屈でしょ

会いたいというのは枝から落ちる葉をそっと見送ることかも知れず

落ちた葉を踏めばさくさく音がするのが楽しくて小さく歌う

そんなにも早足で行かなくていい 人、子犬、猫、星と満月

来ないかもしれない人を待つて いる 枝先の深い色のマフラー
炎さえこしらえながら不安げに瞳を揺らし人は人を待つ

見上げればあなたはそこにいてくれて冬の夜には光りさえする
夕闇に樹のように立つ影があるマフラーの赤すこし震わせ

クリスマスひとりきりだと語われば後の会話がすり抜けていく

触れそうな手を引っ込めるクリスマスツリーの準備が進む駅前

英田 柚有子 × 穂崎円
@9mori @golden_wheat

尾崎 飛鳥 × 朝野陽々
@a_suuu @asano_yojo

もしもしあのね、ドライブ行へ

それらすべてを抱いて眠らう

きみが乗る青い車は夜見ると深い海でも抱いてるみたいだ

助手席が埋まると決まってエンジンは主人に代わって機嫌よく鳴る

信号のひかりまでもがやさしいねこの車から見える景色は

降りだしたフロントガラスの雨粒は僕があげたい宝石に似て

F.M.の電波に乗せて二人にも押しつけられる愛の尊さ

セットした目的地はあの海岸線三年前のスタート地点

車から降りた一人の真ん中を青い潮風吹き抜けてゆく

海面とボンネットにも月がいる そうゆう風に側に居させて

服用後ネムクナラナイクスリデスキモシナイガミツメテハイル

見つめて入る野天かな櫨紅葉それらすべてを抱いて眠らう

秋用の別れ涙を携えてハチ公前でもう三時間

もう三時間起きられぬ秋の暮それらすべてを抱いて眠らう

いかがかな三首のうちの一首でもあなたの胸をうつのあるかな

うつのあるかなりこたへる秋深しそれらすべてを抱いて眠らう

深海にたぶん答えはあるだろ消えた海豚の電信が 波

電信が波の高さを推し量るそれらすべてを抱いて眠らう

あきやま × あきやま
@amaibiscuit_ @kiyama_co

青木健一 × 菊池洋勝
@aokikenichi @kikuchi29

宇宙人ほゝべの地球体験記

かたおもい

フレボコペ起きるんだケン地球では大罪だろう「ネボーシタ」とは

四本の指のほこぺの箸づかい 僕も小指はつかっていない

十本足の怒れる宇宙生命体襲来ケンはまだかえらない

それカニだ、ただいまほこぺ、実家から届いたやつだ、海つてわかる?

足をもぎながら言葉にかかるケンとおじ「キヨウの“海”的匂いを

ぽこべつて夢は見るのかかるさとでいつか地球の夢は見るかな

この星は空から水が落ちてくるあのななじるをミヤゲにしよつ

外で見たどうやら虹をこの部屋にくれようとしている 彼、ぽい

洗い流してもまた泡立つてゆくずつとあなたの泡風呂にいる

松島ゆうり × 桧枯井戸
@you1475963 @kareta_id

ゆきをまる × さたをまる
@yukitknsrakunt @beaute_1202

北の、白い森



それらの光

白樺のざらつゝ樹皮よ晚秋よ思い零れぬように咳きこむ

朝焼けが白鳥たちがこわいとき無口なひとに初雪の匂い

曇天にぼくの何処までゆくだらう風は冷たくてのひらに熱

野いばらの実のくれないが突き刺さるその手を強く握り返せば

野分き立つなか庭に雪を待つていて野いばらがまた堅くする刺

凍雲がことばをひとつ遮つて何もなかつたような白日

ながいあいだあなたの左側に立ちただ風をあび空をみていた

ゆき、と言つあなたの顔は見ずにいた ながいあらしの冬のはじまり

夜明けなど来なければいい遮断機はおだやかに星々を眺める

この夜が明日へ繋がらないよう密かに灯る電話ボックス

道沿いにいくつもの灯が遠のいてサイドミラーは手を伸ばせない

さよならはいつでも雨でワイパーが星まで拭うように手を振る

明かせない気持ちのよくな細せで光る閉店後のレジスター

口笛が夜風に乗つてありとあらゆるシャッターの目蓋をおろす

眠れないエレベーターの内側にひとりぼっちで眠る一人田

満月を剥がしたきみのステップがアルミニウムのような軽さで

西 鎮 × 愁愁
@xi_zhen_ivut @shueshueshu

夜夜中さりとて × うゆに
@yoyorusaii @uyuni_tan

名のない果実



メノンタライトは廻る

教科書の奥に林檎の類透けて重力はまだ知らぬ月曜

踊り場の鏡に映るわたしたち似ているところぼくろの位置だけ

田が合えば飛んで火にいる夏の虫フラスコを持つ手を滑らせて

「貸したげる」差し出されるは純潔のしるしのような真白なハンカチ

セーラーの解けたタイが宙に浮く保健室から彗星になる
三つ編みを解き合う時香るのは君に似合わぬ洋梨だった

この糸に名前がつかずとも良いの水平線にあっかんべえを

口元に面砲が一つそっと撫で爛れた恋の膾の現れ

有村奈都 × 青藤木葉
@arinmura72 @konoha_ao

友常甘酢 × あや
@azukicreamcup @cheri_fun9

永遠の欠片の夜に

わたあめ氣球



星ばかり見ているひとに宛てて書く午前一時の群青で書く

触れるまで夜の欠片できていて読みきる前にぼろりと落ちる

遠い秋の匂いがします少しだけ右に傾いたあなたの名から

秋という不確かな季節の中の静寂という不確かなもの

永遠とすべく手紙も幸せも空も燃やしてしまいたくなる

永遠はほんとうに永遠ではなくて、都合の良いものだけを抜きとる

ああそうだ、星々にすら死はあつて真実だけが仄かに光る

真実という傲慢をわたしたち、互いの傷として受け入れる

ベン先や渋谷で売つてる綿あめを真似しただけの夕焼けがきらい

あの虹は消えたみたいに隠されて。この夕焼けはまた明日ここで。

明日は晴れお出かけ日和となるでしょう葉から流れた金色の露

夏の夜溶かしてできたハノイ行き、機内食には流れ星3つ

ふつふつと星を煮込める日があれば浮かぶ飛行機すくつてあげる

それぞれの知らぬ時間を吐き出して大きな銀で分け合つサラダ

会わざとも繋いでるならもういいの?それなら飛ぶわ、気球でバイバイ。

眞鍋せいじ × 音無早矢
@biscuitfortress @otonashi_haya

阿鼻地獄 × 七味
@BlueAmberDay @ramponponpon

プロローグの雨

ある十月の

国境を気軽に越える渡り鳥そのようにコーヒー運んでくる

コーヒーを置く瞬間に会釈するきみはどのように笑うのですか

雑談と雨との親和 何度でも知らない行を知る文庫本

透明な傘と猫背は滲みゆき街はしづかに水彩画めく

キヤッシャーで交わす言葉のいくつかが帰路に咲き出す種子であること

守るべき約束のない平日にいつか私が会いに行きたい

約束はいつ来ることも許されて街は開かれっぱなしの手帳

気がつけばあと二時間で明日になる夜を終えれば第一章へ

アナコンダにひき × 瑞璃紫
@two_anacondas @ruri_murasaki

天野うずめ × 岡田奈紀佐
@uzume_no_hijiri @spice16g



花びらの視点を借りてたわむれに GoogleMap で見るきみの街

就業時間よりもみじかい君の住む街までの六時間と少しば

ひとりでもパスタの皿をあたためて自分の余熱に安堵していの

つむじ風 君がきみだけに聴こえるようにこぼす言葉もある 木の葉舞う

しばしくは離着陸のない空港のしづけさに似る 声は途切れ

じやあまたと電話を切れば消していたテレビの黒い画面が黒い

シャンパーとワインのボトルの遅い減りそれでもまだ会いたさに压されて

別れがもし話したり手をつないだりしなくなることだつたら今は

別れがもし話したり手をつないだりしなくなることだつたら今は

toron* ✕ 近江瞬
@toron0503

小林董子 ✕ 宗谷燃
@tsunikinomachi

ましまゆり ✕ 小田たくみ
@canary_bird

二人手を最後に振った感じまで 似た者同士でやだね来世ね

アイシング・ガールフレンド

運とかめぐり合わせの良さをもつと誇つてみなよ歌になれるよ
確かに寄り添えなくて冬の雪君の知らない駅にて一人

げらげらと笑い上戸に絡まれるぎりつきりな星回りつしたね

さらさらな髪の質感思い出す心臓に這うやすりざらざら

血液型占いくらい妥協して照れを隠した天使呼ばわり

明け方の微睡みに住む天使には会えないらしい冷えた指先

変なの、と思うなら思えよ兄弟、冬の海も晴れりや青いんよ

静寂が曲たりえるなら情景も二人海辺に付けた足跡

夢で会う人は子鹿のようだから朝の光が少し淋しい
嘘ばかり覚えてしまう新月が今日と知りつつ犯す過ち

宛先の無い手紙など渡されて私は用じやないといふのに

夜にだけ話せる言語さつきまで見ていた顔が思い出せない

留守電の母語さく理解できなくて生き延びるのを少し躊躇ひ

見知らぬ街の見知らぬ海で何処までも貴方を照らす灯台ひかる

引用で知つてしまつた名の方で呼ぶから夢で振り向いてください

あなたには名前をつけてほしかった言いたいことはたつたこれだけ

海月莉緒 ✕ 颮沙帳
@cal5040

ましまゆり ✕ 小田たくみ
@hirarimiyuri

祈りの食卓



ひすいライン

夜九時も外が明るいこの国でベンが何だか騒ぐ秋です

餃を炊くこともお祈り 明日から長くなりゆく夜のむこうへ
振る舞いの豆のスープが温かい 祈りのたびに母国を想う

食べたことないものにする スーパーの棚にまみえるレンズ豆とわれ
スーパーでSUSHIを見つけるタイ米の 文化はこれだから面白い

パクチーもレモングラスもないけれど海老は売ってるスーパーぬまた
今日もまた少しのHビとオレンジを買って乾いた街を行きます

ゴビを超えたクラマカンのはるか西へ海のことばを パスタ茹でつつ

今日もまた少しのHビとオレンジを買って乾いた街を行きます

ゴビを超えたクラマカンのはるか西へ海のことばを パスタ茹でつつ

鈴木智子 × 星川郁乃

@ctfun8220_15

@kecylan

蒼音 × 青時

@chara433

@madobenoumibe

パレット



LOVE

祖母からの白米ひとりで量る朝七福神を丁寧に研ぐ

太陽のような目玉焼きの黄身はひとつで十分明るいはずで

木漏れ日を噛みしめ手紙出しに行く郵便ポストは凛として赤

あまりにも青すぎる空が偽物のようで手紙は届かないかも

空高く上がり緑に煌めいて祖母の愛したフウセンカズラ

あの庭でひときわ明るくオレンジに香る金木犀 切らないで

気が付けば樹は根をぐつと張つていて藍の夜空に夢を見つけた

ふるさとの方から空は紫に明るみわたしは今日も生きます

始点とは終点でありホームから見ゆる水面は雪を呑みたり
風花がひゅるりと舞えば北行きの電車は駆ける翡翠の岸辺
ゆふぐれは照らさざらうもや灰色の空に浮きゐる磯子の白や
座席のみ温い窓辺に寄り添えればうき世を渡るかもめは一羽
踏切のB.P.Mは120 一両列車のやがて来るいし

心臓は早鐘を打ち肺胞は青信号の海が満ちゆく

追いかけむ終着駅につくまへに瞳に満つる蒼さへ忘れ

忘れない始発駅にて呑み込んだきみへの言葉お守りにして

雪野菜帆 × みそ

@teasnowonset

@kurumimino

戸似田一郎 × 平出奔

@tonitaichiro

@Hiraide_Hon

童貞を殺すラーメンきゅきゅとハレー彗星大盛りふたつ

街を縫う常夜灯から駆け出してよだかの星を探しに僕ら

東京の終電かぶと虫が飛ぶくるりくるりと青春キップ

待宵にひとつ憶えた花の名をきみが食べたら真っ新な朝

ヴィーナスの誕生風がびゅーぴゅーと信仰唱えるラップトッップ

息継ぎも忘れて泳ぐ世界線ゼロでふたりは近似値のイチ

真実を捉える眼差しが欲しい／＼＼＼＼と相対性理論

光速で解いたこたえは日々に溶け睫毛を埋めるステップの塩味

実印は紛失すると危ないし会社のほうで預かつとくね

実印の貸与で始まるラブコメディ ぼくが部長で部長がぼくで

ラブコメになんてさせない入れ替わりなんてさせない君の名はポチ

JKが隣に座ってくれるから僕にできることはまだあるよ

ラブコメについて考える部署は新社屋に移ります

この虹を僕に見てほしかったからデスクを窓際にしたの？部長＼＼＼＼＼

十二時になれば音楽かかるから音楽をきながら働いて

働くけど働くけどなお我が暮らし樂になお世話になつております

たなかのたんか × 花曇り
@tanka_daiki @chilinuulwae

たろりずむ × 川野愛奈
@tarorism @Kawano_tanka

αの翔くん、Ωの空くん

好きなんだバレーボールと尋ねられ君がと言はず一年がたつ
はつ夏の腕を風切り羽として俺は翔び立つおまえのために

床を蹴る君の靴音聞きたくて自室で一人ボールを放る

手を掲げ「来い！」と叫べば完璧なトスが来るのは完璧な恋

勝利して友と抱き合つ満面の君の笑顔で三回抜いた

淡雪のようにΩの君のくび夜の深さの番の歯形

名前なに？どちら似かなあ未来絵図描くだけならただたつたから

ボールより重い「つばさ」を抱き上げる腕はおまえと鍛えた翼

千早とわ × 星野いのり
@chihayatowa @kitaoinori

千仗千紘 × 笠原楓奏(ふーか)
@Chihiro_Senju @fuka_kasahara

江ノ島の間の一途驅ける ああ、海と或いは踏切のうた
ゆりかじの いいえ、或いは胎内の記憶のうたが寄せては返す

百年後忘れ去られた歌人から届く返歌の知らぬ筆名

拌啓、かつて海

どいままでが傘をささない雨なのかわからぬままあける玄関
人4人詰め込んでいる誰一人濡れるべき人などいないから

まだここにいさせてほしい水滴が撥水コートで流れ落ちても

流れ落ちても海となる定めなら決壊すればいいよ涙腺

手のひらの涙もきっと還るから次の休みは海に行こうか

百年後忘れ去られた歌人から届く返歌の知らぬ筆名

餃子



スピンオフ

浜松氏と宇都宮氏が浜松市と宇都宮市で交わした軌跡

すいません餃子追加で（今日こそは終電を逃してしまおうか）

お土産に焼売を買って帰つたら餃子が翌日いなくなつた

ため息と共につけば赤い糸みたいなラー油 その先に宇都宮氏

あまりにもきれいな羽根がついたからこのまま逃がしてあげたくなつた

占いに背いて行つた王将で出逢うやつぱり運命ですか

まつしるなシーツに包まれた餃は互いの肉を貪りつくす

そうやつてできたのが僕、新しい世界、夜空に輝く餃座

今日はやつとひとりとひとり 恋をする人と丑人でひとつの大義など邪魔

連絡をブルー、イエロー、グリーンにもしてるだらうか雨の首都高

小物にも服にもピンクを入れないであなたはわたしをわかるのかしづ

雨の日に敵のアジトで捕まつた時以来かもふたりきりなら

悪に落ちてあなたを狂わせたかつた ヒーローだもの呪るでしょうね

「プロポーズフラワーですか」 そうなのか二色のバラの花束を買う

踏み潰す手前で避けたアーケードの老舗の月餅買つていきます

トランジスタグラマーなどを戦闘服では気付けなかつたハチ公の前

かなしのねあなたと言葉を交わす度わたしのくには焼けた野になる

ケムにまく言葉とともに野焼きする原には夏の茂りあるやも

黒々とした夏の陰たち踏みてゆく、一度と分け入ることはない庭

弁護士に御礼を述べて新しい私に向かう虹は背にして

誰だつてひとりで死ぬわ、雨傘の中ぐれつ子りんと呟く

それよりも問題なのは傘の字は密過ぎるからマスクしましよう

問題はないよと嘆くそのたびにひとりぼっちで野に立つような

解答もないはずと言ひまた旅に出てゆく君の少し前ゆく

むぐはぐ

放課後に咲く

CHONO × Shiduka Mai

@CHONO5 @psyche_mimori

ともえ 夏 × 雨虎俊寛

@croissant_hey_2 @ameturushi3107

ねえ、先生、きれいだよ。ん？焦つても？きれいだよ、ほら、この雨の音

問題にもどりましょか見つめてもわたしの顔に答えはないわ

それよりさ俺からの問一だけど先生、好きになつていいかな？

問一の前に伊勢物語でしょそろそろお口にチャックしましょう

そりやつてすぐ「先生」を演るといふ大嫌いだよ壊してあげる

壊せるなら壊してみせてどうせなら業平みたいに三十一文字で

帰さない君を支える強がりがはかないことを確かめるまで

秋雨に季節はずれのかきつばた咲かせてきみはわれを攫えり

菅沼ゼリーハ 青村豆十郎

@taken_suganuma

@aomura1016

天田銀河 キール

@tancaloid_ginga

@madame_kir

つくるの海



モノローグ

のこりものに福なんてなく購買のすあまとペアを組ませてゐる

五限目の古典にシロナガスクジラは寄せては返すまぶたを泳ぐ

窓際の彼女は船を漕ぎ出でぬ黄色いペンをオールにかえて

部活動紹介の時あんなにも仲良さそつたじゃんバスケ部

人のいない教室まつせひな黒板空にひとすじ田墨の線

コンビニの光しかないこの町は都会でもなく田舎でもなく

走光性、きのつ習つた範囲だねひかりにむかうあたしたち蟻かな

進路希望に花屋と書けば叱られるだろう未来の星 十七歳

スカートのポツケにドングリ入れながら〈森の秘密〉をキミと探しの

しゃりしゃりと葉っぱをふんで走ろうよ赤いスカートきらきらしてゐ

温もりを分け合つ右手探して赤い手袋持て余してゐ

何もかも手放す指を捕まえた『さあ奏でよう』僕らの歌を

嘘つきとキミが咎めた唇で鏡に向かい愛を誓つよ

濡れた瞳が金に光つて綺麗だね触れられなくて ああ狂ヲシヰ

いつまでも私と一緒にいるキミの瞳に映る月は見えない

緋の月に魅いられたのは僕とキミ 永久に生きようー〈私〉とともにー

御燈尚 × あの井

@syk_1129 @_anoii_

海月漂 × 魚返みりん

@tadaoujou_k @okaerimirin

答辞

きみの読む歌が好きだと教室のベランダ越しに叫ぶ放課後

声色も知らない友の称賛が風をはらんで歌になつてく

順番に卒業証書を染めてゆくこれは最果てを目指す旅路

それぞれが色づけされてゆく旅を経てまたここで虹になろうよ

プリズムとしての五感を携えて教科書のない日々を学ぼう

じんしんくさいるはすべてうまくいくためのじゅもんと、書は捨てました

僕たちは言葉の粒で道作りひかりの足跡残すウイザード

詩になれず漂つている言葉さえ僕らで拾いあつめ歌うよ

夢八夜

信州のどこかの町であなたへのお土産を買う夢をみました

あなたから届いた手紙の文字たちが音楽になる夢をみました

ことことと鳴く野良猫を追いかけて海まで歩く夢をみました

あの夏の入道雲を綿菓子にして頬張った夢をみました

降る雨が染み込むところから夏が色褪せてゆく夢をみました

晴天の秋の日君の号泣で洪水になる夢をみました

飼っていた小鳥が逃げてコンビニに相談に行く夢をみました

オリオンの星のひとつが君の手に墮ちて輝く夢をみました

犬口マズル × 阿部 啓

@dog_muzzle

@output_fall

泳二 × ひとり

@Eishimada

@kotori121520

いま、猫が来たわ。あの頃よく見てた映画のドロシーみたいな瞳。

キンモクセイがまるで砂時計みたいに落ちるの見だよ。きみ、嗅いだかい？

雨の日に小春日和は春じゃないことを話したよね、あ、止んだ。

猫はいまも遊びにくるの？ ベランダで吸う煙草とか雨、好きだった。

灰皿に金木犀の花びらを泳がせたまま過ぎるよ、秋は。

十月のたびにきみを思いだすよ。覆水盆に、というやつなのに。

しぼされたミルクの痕も消えたから忘れることをやめて生きるよ。

T字路に別れたけれどまたいつか繋がるかもね。新宿とかで。

街灯に差しかかるとき見覚えのある背を見つけた声かけようか

榎本ユリ × 小俵鰐太
@enomotoyumi1007 @kotawarakitsuta

北町南風 × RUKA
@EtissXxwrisEQj @yanakasjyoga

鶴巣とひかるの「ちば」つみ

酒に映る月・明日を待つ月

価値観の、主に脂肪と体重についてのそれに相違がありました

脂肪分多めのアイスクリームを選ぶあなたの剥げたマニキュア

本当に存在するの？ランキング89位サワークリーム

猫として彼が存在した街の各駅停車なら停まる駅

停車して、そしたらすぐにはよがりを言わなきやだめだ 泣かないついに

さよならに慣れたあたりでひとまわり大きいさよならがやつてくる

3つしか大きいスプーンがないからパパはちっちゃいやつ使ってね

嬉しさを分け与えたいスプーンで掬えるほどの愛情だけど

鶴巣 × ひかる
@suno_tanka @hika_

瓦すずめ × かなた小秋
@suzume12312 @kanatakoaki

動いてる影が僕だけの帰り道誰かとなりにいればいいのに

街灯に差しかかるとき見覚えのある背を見つけた声かけようか

僕の名をかわいい女子が呼んでいる名前はえつと、えーと、えつと

どうしたの今日は遅いね静かだね何か悩みがあるなら聞くよ

ねえ君の前世は天使じゃないのかなこんなに笑うのいつぶりだらけ

文化祭委員をやろうこの秋の君の笑顔を毎日見たい

知り合って数分なのに即答でじょじょに話した僕は不思議だ

特別な秋になりそう右側に君が歩いている帰り道

死にたくてそれでも明日も生きるから田園団子に山葵を入れる

明日が来る楽しみがない病院で退院だけが小さな希望

居酒屋の隅でゆるりと手酌する清酒の銘は「大きな希望」

山小屋のやかんで酒を注ぐオヤジ清らかな水教えてやると

まんまるで月が綺麗と言つたけど愛していると言つてないのに

コスモスの花を手折りに行きたくて一息に呑む丸い錠剤

結婚の祝いに好きな絵をひとつ金の額縁コスモスの花

#ない夜

遙かなる旅路へ



空へ向け凍結魔法を放つたら南の島に降りしきる雪

半袖のミスリルメイルを強化する夏に負けない凍結魔法で

南国の雪降るギルドで杖を買う僕には僕の一ワトロの杖

ギルド長の末娘から受け取った魔力まとったアンクレットを
きらめかせるとアンクレットが輝いて冒険の書にひかりを投げる

パーティを結成してから早五年冒険の書の余白を思う

新しい大陸へ向け出発す魔王の城はまだまだ遠い

最後には皆で笑おう魔王にも勇者と同じ紋様はあり

寂し気な瞳に出会い出をスノーホームのように覗けば

例えはそう血に染まることも厭わない恋というのはあるものですか

血だといふことに気づかなかつただけ刃に触れてみたかつただけ
愛するものを必然的に傷つける生まれついての刃を持てば
指紋ではなく赤い血が伝つ手を愛と呼んでもいいのでしようか
痛みとか血とかをすべて受け入れて初めて届く、愛、なのかな

くろがねの両手でつけた傷跡が愛の記憶にいつもピリオド

真夜中に二人で観ればそれぞれに違う孤独をそこに見つける

ソウシ × 吉岡繁樹
@sixia0uT8BMBigp @no_shigeki



砂浜のレプリカ

田中翠香 × 知己凜
@suukakinenbi @Chikorin7

メリー・ゴー・ラウンド きみがまだ空を飛べてた頃のことを聞かせて

『次はあれ行こうよ』ぼくの手をひいて駆け出しきみの背中にも羽

ヴィーナスは明星と呼ぶ迷いなききみの右手はたまにまぶしい

止まらずに口マンスに落ちていきたくてゆつくりあがつてじくコースター

溶け出して渴みたい ティーカップの中で砂糖のような甘さを残して

最後にと誘ってくれる観覧車は世界で一番甘い乗り物

今ならば届くだらうか明星に虹の軌跡を追うゴンドラで

星に手を伸ばして飛んでいきそうでつかまえたんだぼくだけの星

IRUMI 鈴木智花
@ewis_0411note @Suzukitomoka106

鈴木精良 × 若杉有紀
@fufunag @May_Rock_2096

雨が止む

千重の一重を戯れに

雨が止む心地よさとは何でしょう あなたと共に味わえますか

心地よき雨に濡れゆく朝のあり十月という慈愛の国で

ワイパーで晴れた視界に虹がみえ慈愛の国に車を寄せる

ゆっくりと時計を外す 汗ばんだ肌の記しは虹の如しも

時よりも雨音で知る深呼吸 風の合図に身体をゆだね

同期してゆく呼吸音 キンモクセイ散り敷く境内に影ふたつ

花びらを踏まないように敷石を歩む二人の願いはひとつ

苦しいほどに香りたつこと見あげればうつすら白い巻雲うかぶ

(ストックがないなら今日の天気なら)「プロポーズしてくれて良いけど」

(装飾も口実もない弾丸で傷だけ残すから)「忘れない」

(刷り込みのように見つめるその先は私はあなた貴方はどなた)「・・・」

深水遊脚 × 詩穂

@fukumi_yukiyaku @depardoshio

須磨虫 × ぐりむ

@garaketta @naminomina_

拝啓、かかと

説明書のない真夜中の国道で六等星の僕らは足搔く

くるぶしが冷える今年の足音が日向とともに遠のいていく

狂うほど君に会いたい夜を越え冗談みたいなヒールを履いた

ターミナル最終列車を見送つて真つ更になつた立ち位置を探す

素足ではもう歩けない月曜を終えたら次は火曜日が来る

ルートから外れて歩く振り出しに戻れのマスは踏み抜いて行け

氣怠げな夏の足首まわしつつ明日辞めていく同僚のこと

遠くまで行ける気がした月曜日新しい靴踵を鳴らす

嫉妬林檎 × のにし

@shitto_ri_nido

@no_nishi



Re:TANKA3

(決められた交わりだけの恋と知る $\sin \theta \cos \theta$) 「波が変われば・・・」

(ひとつまた色がくずれる決められた手順で風をうけいれて空) 「・・・」

(正確な手順できみをほどいても請う瞳がゆらぐ歪んだままで) 「・・・」

(繋いでた手のぬくもりが見せかけであつてもあたし)「嬉しかったよ」

(わたくしとわたしを使い分けられる程度に)「俺は汚れているよ」

(ストックがないなら今日の天気なら)「プロポーズしてくれて良いけど」

(装飾も口実もない弾丸で傷だけ残すから)「忘れない」

(刷り込みのように見つめるその先は私はあなた貴方はどなた)「・・・」

須磨虫 × ぐりむ

@garaketta @naminomina_

深水遊脚 × 詩穂

@fukumi_yukiyaku @depardoshio

拝啓、かかと

説明書のない真夜中の国道で六等星の僕らは足搔く

くるぶしが冷える今年の足音が日向とともに遠のいていく

狂うほど君に会いたい夜を越え冗談みたいなヒールを履いた

ターミナル最終列車を見送つて真つ更になつた立ち位置を探す

素足ではもう歩けない月曜を終えたら次は火曜日が来る

ルートから外れて歩く振り出しに戻れのマスは踏み抜いて行け

氣怠げな夏の足首まわしつつ明日辞めていく同僚のこと

遠くまで行ける気がした月曜日新しい靴踵を鳴らす

わが家の見る夢

春の巣で

ふんだんに秋の夕陽を浴びたかわきみの笑顔はとおじ田の雲

あの空の雲の鱗になりたくて夕陽のかけらが転がってゆく

空から降る鱗みたいな落ち葉たちかき集めでは両手ですくつ

君の手に紅葉がほわり包まれて空が冬へと泳ぎ始める

初雪が樹に降り積もり眼裏にたつたひとつ桜花笑む

冬いろを壊さぬよう透けるほど淡いルージュで春先に立つ

くわびるに風を受けつつ若草の露のきらめく山駆け上がる

僕たちの願いが羽化をする」と丘の上では風がほどける

僕たちの願いが羽化をする」と丘の上では風がほどける

佐藤水魚 × 八重森やくら。
@satohio_tanka @yagesaku0329h2

月隱いち × 廣間菜月
@seika13ichi @pi_natsui127

わよない、あぬこのせりん



月下美人のひらく夜

眠れない僕にください肩凝りの辛さを知らないキリンの夢を

熱を出すたんびに夢に現れる右肩下がりの昔のおとこ

それはまだ記憶でしたか？思い出に届かないまま消えたあの人

海馬には青いキリンが棲みついて土曜の夜はギャロップします

まだ青い林檎を噛り忘れない人の名前を並べても雨

きらいきらい、雨の匂いもお陽さまも避けて飛び込むプラネタリウム

地球儀を回し続ける朝も夜も全部飲み込む強さに焦がれ

指先でなぞるアフリカ大陸のキリンの群れの夢をまた見る

ねおはしけんじ × 野中美亨
@ge0084az7 @nonaka_miyouki

滝藤青瀬 × 5.74 ft
@genso_aose @574ft

黒板に書いた「わたしはここにいる」チョークの粉は飛沫のようにに

すれ違う人よけられず二回目のクラスに居場所狭くなる春

教室にいないわたしの詠む歌を面白いって言つた先生

赤本の添削ノートに挟まれた先生のメモ大事にしまつ

先生が恩師になった春の巣で似てる羽色のあなたに出合つ

友だちで妹弟子で月の字をもつたあなたといお歌を詠む

滑走路生身で走るわたしたち過去のすべても今は愛せる

仄赤いろいろそくの火がふわり揺れ微かな熱で私を撫でる

シロ



来なくてもいい

田じかのシロと呼ばれるその犬の親犬もその親犬も田

冬の丘 しきりと風を立たしめて野のいちめんを毛づくろいせり
△当地の蕎麦屋に入る冬の日の遠心力に振り回されて

してもいい遠回りをしている旅よ あらゆるさざくれば癒ゆるまで
面接にばつくれたことも遠回り／近回り 雷鳴の天窓

生活はばつくれられずコーヒーヒーと焼きほたて貝ひも買う深夜なり
盛炎のうねり 一夜を越えてゆく列車に乗つてほしいあなたむ

朝の日のきやしさはじめの涙かなひととの縁はしらじらと燃ゆ

今日をじの思い出すだら、ハツカ飴くちにふくんで待てば涼しげ
再開や出会いに取り組まれながらとおへを見ているきみとハチ公
もつ春になりかけていた駅前で鳴かない犬をすこし撫でてた

相槌はときれときれに沈丁花こんなところに咲いていたつけ
空席のベンチに風が吹き抜け葉擦れがずっと小雨みみたいだ

呼び方を初期化したとき足元で見慣れたハトの影絵も解けた

夕暮れをじめられずに田をつぶる ふたりは固有名詞じやなくて

知るときは来なくともいい、それぞれが一秒違いで振り向いたじみ

News Morning Ape

郡司和斗 × 狩峰隆希
@gunji_wowowo @ef_s41

浦川ゆきこ × 櫻井朋子
@yukigurayuki @tomoko_s0212

図書室の窓から

「ニュースです、ハッピーターンの粉末に薬物規制がかかるよひぢゅ」
「渋谷ではH.P.T合法化を求めるデモが開かれています」

(ポケットにハッピーターンを不法所持するキャスターの虚な瞳)

「多幸感及び倦怠感を引き起こし常用者の目は濁つています」

「□ハッピードッグ、ハッピーハンターは世間に広く支持されましたが…」

(画面には黒をバックにサラサラと山盛りに降るハビタンの粉)

「副作用として呟律がまわるひぐるの症状もれいじるようれる」

血走った目を見開いてキャスターは叫ぶ「明日も良い一日を」

四辻やね × 朝田おぎる
@saruyotutuji @Morning_Okiu

ケンイチ × 野川
@sasurainoyume @nogawatomoki

標高一〇三三メートル

あみだくじ



『遠い日にあるたと踏んだ雪よりも雲より高い山に来ました』

モノクロの山を見上げる 君たちが登った山に私も挑もう

『登つたら降りるものだと教えられ降りられません、なんど、どうして』

雪上に君の痕跡探しつつひたすら登る、静かに登る

『この場所が墓標だからあなたには来ないでほしい』(みつけでほしい)

凍てついたカバン、服、髪、とけた肌「こんなところにいたのか、君は」

『けれど尚来るなら夢を託します。あなたは山に愛されたひと』

「ゴーグルをもらつよ」一緒に見に行こう君が目指したあの頂上を

はしゃぎ氣味の身振りで喋つてくれている いいと思われたくて笑つた

上手くいくよつとできてるあみだくじ ばかと思われたくて走つた

階段を駆けてくきみはサンダルをぱろぱろこぼしつつ笑つて
好きな人にしちゃおうかな眠すぎる昼を駆けてく手段として
眠すぎる講義を抜けて会いに行くとかできないしラインするかな

ライン来て千年後には残らない変なスタンプ今使つとく

今も意図を掴めないけど風船は飛んでるときがきれいだしいや

ジーンズの上から搔いて爪青いきれいじやない妄想うまくいく

水中花、溺れる
やわらかなサ行

ここからだ 飼ひ殺されてゐない手をあなたとつなぐ秋の路地裏

透きとほる首輪につけた迷子札 戻つておいで凍える前に

突然の川にすこしは驚いてほしかつたけど 扉を開ける

えいゑんの波として飲み込んでゐる あをい匂ひの中指さべも

そのあをの透きとほるときつゆ草がふたりの露をじわとたたぐる

結ばれてゐる結ばれてゐるたとへ茎は花野に溺れてゐても

夢はまだつづいてゐます旅人のまつすぐ果てる湿りはいのち

やはらかに世界を閉ぢるくちづけの種を散らして お帰りなさい

袴田朱夏

@hakamada_shuka

X 脣

@rou_tanka

春陽

@HARUHI_little_s

X ササキシユウ

@utatane_no_kimi

みなとぐちから

初めて知る、マロンクリームの味が
嫌いにならない」とを祈つて



【みなとぐち】風の強さを受け止めて 軽々 かもめ 飛ばして いつた

ちぎれたら、かもめは声だ この喉に曳き波白く残したままで

散り散りの声はひかりへ移ろいて誰に触れば忘れてくれる?

灯台は肩のあたりがさびしいね すこし長めに汽笛を鳴らす

曇りなくこの身を船に例えても〈私〉のほか乗せられぬ船

振っていた手はポケットへまた戻る袖のボタンの小さな錨

グッバイで始まるサビを思い出す、時に掠れていたその訳も

なぞるまで気づかなかつた走り書きの楽譜に海の面影は濃く

唐突に好きとか言うのは反則!話したいのは進路のこと

の つ ち べ い × 久 藤 さ え

@hatobaba_circle

@nakudo

新 棚 の い × 陽 辻 寿

@hccmono

@ohhsama_yuma

アローくん



真夜中の通話ボタンはぬるくつて生きとし生けるもののララバイ

花束を抱える人とそれ違う、想う受け取るまでのストーリー

アローくんの注文したジンジャークールだけが遅れるという伏線

スマホ見るアローの下手な息継ぎでお開きになる沖縄飲み会

どこからかリンダリンダが流れ出し降りるATMのシャツターソーキソバ屋の前ふたりいつまでもグリコしたこと忘れないでしね

愛を語りながらサラソラップ切る 小分けにされておやすみ、ささみ

冷蔵庫の青いかき氷シロップが夏の終わりを長引かせてる

國 崎 半 島 × む さ び

@plum_republic

@musasa—

りん 2 × 万 間 み い や

@mc_ssk_

@tkq_2123

マロンパフェ、食べに行こうよ金曜日。部誌の編集頑張ったから

目の前にいるのにわざわざメールなの?もしかして、いま照れてたりする

照れない!いいから早く切り上げてカフェに向かおう?話があるの

そういうえばマロンクリーム食べたことないんだわ モンブランとかも

へえ意外かも。楽しみにしていいよ!あの店の栗おいしいからね

なにを話そうとしてるか知らないけど君が好きだから、安心してよ

「受験勉強したいから別れて」とか言わいたら水かけやすいね、カフェ

もし今日で世界が滅亡するとして最後の晚餐は何がいい

コンビニのカップアイスの半分こ できれば誰かと手を繋いで

真夜中のセーブポイントみたいにさ、「コンビニのある街でよかつた

この街も明日は砂漠になるでしょう。アイスを買った記録は残る?

本当に必要なものはないかごの中身を飲めば来世の砂塵

人類が砂漠の塵になるのなら砂丘は全部だれかの記憶

「コンビニの在庫が砂に塗れても僕らはきっとまたここで会つ

何を食べるかではなくて君の前で食べる記憶があればいいのだ

雨だれ前奏曲

不器用・ア・ラ・モード

台所に雨は降らないそれだけのことに救はれたつていいだらう

雨の降り込むベランダで育てよう。黄揚羽が食べ残したパセリ

うつくしい雨に降り込められてゐるこ^トが牢でもわたし此處に居る

一人ならどんな牢でも構はない。見なよ、あつちの空が明るい

止まない雨、が優しい比喩になれるやつな世界で僕らワルツを踊(レ)ない

雨だれは前奏曲だからワルツとか踊らなくても心は躍る

やう、これはこひろの話。つぶやいて明日のパンを買ひにいかねば

パンならば雨も涙も拭けるからマーマレードはしまつておくよ

困ります。どうして昼に来たんです？顔がにやけて大変でした

小雨から逃げてきました太陽のにおいがする髪に触れたくて

言い訳はもう聞きません大好きなプリンを買ってお待ちください

不細工な自作ア・ラ・モードも見せられる 映えなさと愛おしさの擬菓子化

許します貴女の愛で崩れてるクマのプリンが愛おしくて

崩したいのはプリンじゃないのよとか言えたらしいのに「マスク、外して」

「はい、どうぞ」マスク外して見つめれば揃いのリップ共に溶かして

耳元に染み込んだ吐息の熱が炎になって朝を照らすまで

蒼い夜

西村曜 × 佐藤博之

@nsmrakira @Z_Bozhi

新妻ネット × ブルーウェットふみ乃

@NTR_s252 @BLVIEWHET



かんたんに抱きしめられてほどかれて涼むため来た夜の雷鳴
はじまってしまった二人に雷鳴が夜の黒さを裂きて響きぬ
この恋は若氣の至りと決めてじる愛せよ夏を爪あと深く

一人してただこの夏を抱きしめる かなかなかなと蜩の鳴く
じひつじのコアな舌先ちりちりと焦がす今宵の蜩の声

想い出はいつもなにかがほの暗い最後の時を知るは蜩

終わらない恋なんてない終わらない恋なんて また暴風雨の窓

強き雨いつそ一人を閉じ込めよ終わりなどない蒼の世界に

中々島 潤 × 角野裕美

@hibicore5 @hiromi_kadono

人も歩けば猫に当たる

| CHIGOTSUMI DIALOGUE

陽だまりに溶け込む猫の名を呼べばしゅるんと動く三角の耳

前世から友人みたい 瞳孔をひらいた目から逃れられない

じこかへと駆けてゆく背を追いかけて ツツジの群れる季節の風よ

路地裏に誘い込まれて見渡たせば猫の事務所の扉はひらく

堅牢な扉の奥に猫たちの笑みの絶えない新世界あり

尻尾でも生やそうかなと踏みだせば忘れられない人間世界もある

■陰がはじまる予感 鮮やかな瞳に適うわたしになつて

目覚めれば三角の耳揺らめいてにやおんと消える真昼間の夢

みじめさを感じてばかりの生活で次回の空は夕焼けですか

次こそは朝日の空を信じつつ今は雌伏で歓喜を待とう

やわらかく雌伏している sponge を誰かのフォークが削る映像

スponge の穴から飛び出すシャボン玉君の心を写すマーブル

ドーナツを食べて舐めどる指先に私のこころも眼も奪われて

ドーナツを食べて舐めどる指先に私のこころも眼も奪われて

ハハくしい接線として流星が夜空を少し舐め取つてゆく

冬空をふと見上げれば等星焦る気持ちも共に流れて

晴れの引力／雨と沈黙

キヨリ

紫陽花の始まりは雨？ 勝ちたいは何に？ 会いたいのはわたしたち？

曖昧な会いたいなんか要らないし毎回傘を置いてかないで

真下にはどちらもいない 静けさの増した街にはピールの傘

いないないばあは嫌いだ 沈黙を続けるきみの愛は怠惰だ

沈黙は無音の合図 金属のマイクの代わりに握る手のひら

ハイスクールライフ 何度も手のひらの上で転がすアイライクユー

アイライクユー 曖昧に散る感情を煙のように吐き出す銃口

冷えてゆく銃口 バイバイ、わたしたち 友情なんて空想だから

星野珠青 @hsn_tmo × 石勇斎朱吉 @STV_May】

かひすまあ 紫の君 @inari_karasuma × 紫の君 @3bv37zIPVAr4Ja

ホ。 龍翔 @maltase_cross × 龍翔 @oppizunstuan

なるなる 兔陸☆(ひりつくすたー) @narunaru0825 × 兔陸☆(ひりつくすたー) @tlixster

おすすめと貸された本を少しづつめくつて探すきみの琴線

文庫本一冊分の空白が恋占いを買って出ている

長々と続く面談まだ何も言えずに外を見れば飛行機

2学期が終わる日までは夢を見ていても良いよと現実が言う

水道を上向きにして飲む水の冷たさだけが溢れていた

青春の零したもののが夕焼けの茜に溶けて図書室に秋

じやあまたと本を渡した丁字路は左右に真っ直ぐまつすぐ伸びて

私のと違うしおりが大好きな105ページに挟まっている

岩陰に鬼女の紅葉の炎え枝垂る隠れ山へと杉の参道

羅の鬼女は戯れ赤蜻蛉追いかけ渡る紅の湖

鏡面のゆらぎ母引く枯れ葉色紅はひさかた装いの日の

長閑なる里山飾る曼珠沙華朱くあかくと装いてをり

ためらいのワンピースまたハンガーヘア着けない林檎富に

頬染めてこくり頷く君のため林檎を詰めて待っているから

子を抱いて秀峰仰ぐ里道の向こう駆け来る君の夕

鳥瓜集めし子らの夕焼けに赤き背中に秀峰聳え

長井めも × たご 団子
@longmemo_tanka @tago_d_tanka

沙羅粗伊 × 澄薰
@LT8MBfDEzzehLq2 @Rean78645

星結ぶ夜の



鰐呼吸

プラネタリウムのように見るだれのことも愛していらないひとの横顔
首筋と肩のほくろをつなげれば生まれるだれも知らない星座

へんな夢見たの、ときみは星屑の残り香髪に煙らせ笑う

夏の残りをかぞえてる ねえ、あれは天体が消えるときのひかり

じこじるやうえまほろしじですか 晴天のそこだけ欠けている風の月

ソラリスという名の香水がゆらゆらと揮発してゆくゅうやみの窓

雨水は銀河のように蜘蛛の巣にひろがりきょうもだれかの計報

水族館のいっとう奥で心臓も脳ももたない海月はねむる

遠野景 × 塚本凜々子
@K_erninnerung @tsukamotoiririko

鶴衣 × 高野蒔
@kamott_07 @our70percent



温かく柔らかな君に包まれて いつまでも眠る幸せな日

君を抱き目覚める朝が 幸せで夢ならどうか醒めないでいて

よく眠るあなたのことが愛しくて起こさぬように そっと口づけ

昼過ぎに「おそよう」だなんて起こされて夢も現も手に入れたみたいで

いつだつて可愛い私で映りたい田醒める前にそっと紅さす

可愛いと言えばさらに頬に紅のせ愛らしく夕暮れのよう

窓の外昇る夕陽をちらり見て 愛しいアナタを包み込む

空と街闇に消えてく境界線重なる二人軋むベット

かのこ × 水戸 →
@kanokanoko13 @Yip4CoqqmmSXdnv

杉谷麻衣 × 堂那灼風
@kazanagistreet @shakufur

近況報告

しまなみ往復書簡

聞こえないふりをしている殻の中じまにまろくノックがひびく
オムレツを作ろうとしてつい4つ割つてしまつてまた少し泣く

恐る恐る殻を割る羽に包まれる愛がうまれるよが明けてゆく

おはようと微笑むひとがいなくともいつも通りの満員電車

ひな鳥はおしりに殻をつけたまま口マンスカーに乗車しました

あの日見た景色が滑る車窓から取り残されてまた巻き戻す

点と点を縁で結んでつづら折る旅の歩みはスイッチバック

幾重にも折れ曲がり行くこの道の先は見えずにそれでも歩く

舞踏会、楽しい？僕には水槽の魚のほうが綺麗でいいや

これほどに明るい夜は二度とない灰によこれた私の顔に

透けてゆきそうな瞳にきみだけが僕のむこうの光を見てた

あかあかと輝く城に一度だけ来てみたかった馬車に揺られて

めぐりあつたために来たんじやないきみとなつ今夜だけ踊つてみたい

握つたら知りたくなつたきみの手が白き荒野のような理由を

喜んで手を取りましよう明日にはおぼろに消える夢と思って

かじかんだ土に灯りをさしかけてあなたは冬を不思議がる人

黒兎 × 枝ひじり
@kurousai046 @hiragi_hiziri

篠永共佳 × 南美桜
@kyo_aia12 @miyo_310

とせつはし

雨降つて



小夜更けて月は空を傾くも思ふ心は残り居るかも

この星は青く、それでも回転てる 僕らの想い置き去りにして

天津田む田と重なる世に君とあわに向けるは言葉ばかりか

月よりも遙かな君にくちびるを重ねるための船が未だない

遠きとは汝が心こそ来ぬ人を思ふもつきを留むる人やは

だから僕はこの身を棄てる果てなきを過ぎ来しを超え君に逢うため

みをつくし流るる時を廻り尋ねる舟に口を開くべし

昼も夜も夢の中にもふたりいて覚めても夢の続きのよつに

昨夜から降る秋雨が今朝もまた私を此処から出さへれない
頬杖をついたそのまま見やる外黄色い傘が開いた十時

音のない海の真底にじゆもつに時が私を置き去りにする

雨が降り置いてきぼりにされたなら長靴履いて追いかけていく

時を駆け君を射程に得た頃にこの衝動を言葉でつかむ

いつの日かつかまれていた衝動を昔語りにできるだろうか

ふと肩をつかまれ振り向く君の手に私の顔がしかと映つた

そんな日もあつたつけねと笑いつつ君と歩く雨上がりの道

□ トバワケ × 月岡鳥情

@kotobawakeTanka

かすとり体力 × 小澤ほのか

@kohei_wilco

@hononkaizawa

シネマ・デー



その先の皿

ふたりしてポップコーンにはしゃぐのは映画館という魔法のせい

検温のサーモカメラに映るのは微熱一人と平熱一人

流れてる新作予告 この恋は吹き替えじゃなくて字幕がいい

開幕でキミが笑ってくれたからリラックスして本編を追う

反射したシーンが照らす横顔につたう涙も映画の一部

タイトルはなんてつけよう同じもの並んで観れた今日という日の

切り取ったエンドロールと今日のことを全部愛して財布にしまつ

観客がすべて帰った映画館またのお越しをお待ちしてます

消えかけたぬくもりをまた感じてる一人で向き合い過ぎる時間に

常套句だけでは足りずとりじりの光を添えて君の名を呼ぶ

一ノ瀬ケイ × 真野陽太朗

@kei_ichinose31

橋原もか × 諏訪灯

@kiharaneko

@_skudew

Re: あなたの仕事

空をたどれば



朝七時オフィスにひとりいや、ふたり名前を知らない同士の会社

その人の始業と私の終業が汽水のようにまじわるフロア

眠い日も忙しい日も雨の日もトマトの三角折りは綺麗だ

清潔なオフィスをつくるこの指のことは誰にも知られないまま

若いから、だからなんだよロッカーの鏡の女は赤い皿をして

若さという鎧は軽くどこだって行けるあなたは自由に生きて

朝焼けに今日の終わりの輝きを見るのだろうか掃除のひとは

今日もまた「進め」の三角折りながらしずかに祈る朝焼けのビル

リモートで繋がる土曜日「会いたい」と言わない私に気付いて欲しい

土曜日が土曜日じゃない振りをして一人の仲を試そつとする

この空をたどりて行けばあなたまで着くか試そつ、雨が上がれば

木漏れ日と雨がさらさら降りてくる君の祈りの色だと思つ

細胞の隅まで祈りで満たすのは恋する女のキレイの呪文

緩やかに私の中の「サビシマ」が消える音する次の約束

回復の呪文のように緩やかな君のLINEを口にしている

雲のちぎれる音がして「会いたい」が彩度を上げる　会いに行きます

木村 権 × カラスノ
@kimura_tanka @karasunosan

野添 まゆ子 × 青山祐己
@kkjjsk31 @bokeyamountain

ゆるやかな死

一本のストゼ口だけで抜けられる不安を夜と形容するな

真夜中はごとり木馬に揺られてもいいよかじかむ夢は正しい

じちばんにさみしい朝だダンボール製の馬でも木馬と名乗れ

いだかれる苦きたやすさ隠す夜に融けよと誘う盤上の馬

融解を待つたアイスはまわりからゆるやかな死を迎えています

零れ落つせぼねにふかく床という床の冷たさ 置いてかないで

サイドロのうを出すだけで過ぎ去った束の間だけのあなたが嫌い

鐘に散る馬車も硝子も葬つて越境せよ煤の素足で跳べ

陽光

こわごわと含む炭酸はじければくしゃくしゃ笑う海から来たの

ぱしやはしゃと水たまり踏む子らはみな王様の笑みほらほら見てて

わざき手の伸ぶるその先見つめをり言葉の前のことばさがして

ふさふさの睫毛に午前のひかり落つこれはなあにと眩しげに訊く

頬寄せて君の角度で見るひかり母もおなじく見たのだらうか

セロハンを繋ぎ合わせて蝶にして変わる世界を一緒に見よう

「おみやげ」と君摘み帰りくれし花陽に透かしたき乳白の花

名も知らぬ花、空、雲を指差しつ長く長く影は伸びゆく

神田 麻衣 × 潮木 紗
@kobe_march_kobe @_00ushio

紺野 水辺 × domina
@konnomizube @domina2852671